

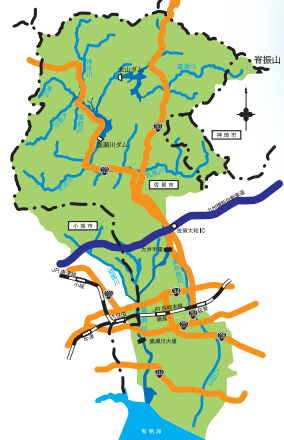
## 県都を流れる一級河川「嘉瀬川」

嘉瀬川は、その源を佐賀県佐賀市三瀬村の脊振山系に発し、神水川、天河川、名尾川等の支川を合わせながら山間部を南流し、途中多布施川を分派し、さらに下流で祇園川を合わせて佐賀平野を貫流し、有明海に注ぐ一級河川です。

嘉瀬川の流域は、佐賀県中央部に位置し、佐賀市をはじめ3市からなり、流域内人口は約13万人を数え、その大部分が中・下流部に集中しています。



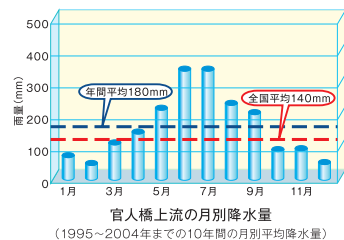
嘉瀬川 諸元	
幹川流路延長	57km
流域面積	368km <sup>2</sup>
流域	佐賀市、神崎市、小城市
流域内人口	約13万人



## 嘉瀬川の河川特性

嘉瀬川流域の気候は、内陸型気候にあり、流域内の年間平均降水量は、約2,200mm<sup>※1</sup>(全国平均降水量約1,700mm<sup>※2</sup>の約1.3倍)と多く、降水量の大部分は6月から7月にかけての梅雨期に集中し、台風の発

生時期と合わせた6月から9月の4ヶ月間の降水量は年間降水量の約6割を占めます。なかでも山地部は多雨地帯となっており、平野部の約1.6倍の降水量となっています。



平成2年7月洪水(佐賀市)

※1:平成7年~平成16年の10年間の平均値 ※2:「理科年表」記載の全国主要観測所の昭和36年~平成2年の30年間の平均値

## 誕生・暮らしを守る「嘉瀬川ダム」

嘉瀬川の下流に広がる佐賀平野では、集中豪雨や台風などの大雨により何度も洪水被害が発生しています。また、佐賀平野では主産業の農業、そして県都佐賀市都市圏の水道などに大量の水を必要

としているため、安定的な水源を確保する必要があります。こうした課題を克服する対策の1つとして嘉瀬川ダムが造られました。



建設前

### 昭和48年から調査開始



平成18年3月 基礎掘削工事



平成19年6月 基礎掘削工事



平成19年9月 本体コンクリート打設直前



平成20年4月 定礎式

- 昭和48年4月……実施計画調査開始(嘉瀬川ダム調査事務所設置)
- 昭和63年4月……建設事業着手(嘉瀬川ダム工事事務所設置)
- 平成2年4月……環境影響評価公告・縦覧
- 平成4年1月……基本計画告示
- 平成4年12月……工事用道路工事に着手
- 平成5年3月……水源地对策措置法に基づく「水源地亚備計画」決定
- 平成7年1月……損失補償基準妥結調印
- 平成16年3月……基本計画変更告示
- 平成17年2月……本体建設(一期)工事の契約・転流開始
- 平成17年9月……国道323号一部供用、ダム本体基礎掘削開始
- 平成19年10月……本体コンクリート打設開始
- 平成21年12月……本体コンクリート打設完了
- 平成22年10月……試験湛水開始
- 平成24年2月……試験湛水完了
- 平成24年3月……竣工
- 平成24年4月……管理開始



平成21年3月 本体工事中



平成20年11月 本体工事中



平成22年10月 本体工事中



平成23年8月 試験湛水中



平成23年11月 試験湛水中(洪水時最高水位)